

本校では、令和5年度より群馬県教育委員会から『SAH (Student Agency High School)』の指定を受け、『自ら考え、判断し、行動できる生徒』の育成を目指しています。『予測困難な時代』のなかで『生きる力』を育むため、『認知能力』に加え、『非認知能力』の育成に取り組んでいます。

\*Agency…自分の人生および周りの世界に対して、よい方向に影響を与える能力や意思を持つこと

## ★なぜ「非認知能力の育成」が必要なのか？★

現代は…

急激な社会の変化 ・ 低迷する経済 ・ 急激な人口減少  
従来のビジネスモデルの変化 ・ 終身雇用制の崩壊  
多様な価値観 ・ 答えのない多くの社会課題 …

このような予測困難な時代に対応するために…

「主体的」に、「自分の頭」で  
「考え、行動できる人材」の育成

= 「非認知能力」

## ★「非認知能力」とは？

### 「認知能力」とは？



- 「認知能力 (cognitive skills)」; 「IQ」や「学力」といった「テストなどで評価している能力」。
- 「非認知能力 (non-cognitive skills)」; 「物事に対する考え方」、「取り組む姿勢」、「行動」など「日常生活・社会活動において重要な影響を及ぼす能力」。「非認知・能力」ではなく、英語表現の通り「非・認知能力」です。

## ★前橋南高校は「認知能力」に加え「非認知能力」の育成に取り組めます！

★校長より★ 新入生の皆さんは「非認知能力」という言葉を聞いたことがありますか？「見えない力」や「社会情動的スキル」などと言われることもあります。難しそうですね。しかし、これは新しいものではありません。昨年、本校で非認知能力研究を専門としている中山芳一先生に講演をしていただきました。その中で、中山先生から「非認知能力は今まではどんな言葉で言われていた？」という質問が投げかけられました。2、3年生は覚えていますか？答えは「心」でした。「心を育む」なら聞いたことがあるのではないのでしょうか。本校は『自ら考え、判断し、行動できる』をキーワードとしてこの非認知能力に光をあてます。新入生のみなさんも『自ら考え、判断し、行動できる』に挑戦してみてください。 校長 原 拓史